学校運営協議会議事録

校名	府立泉陽高等学校
校長名	栗山　悟

開催日時	令和8年10月22日（木）14:00　～　15:40
開催場所	泉陽高等学校　校長室
出席者(委員)	木村雅昭委員長・岡本雄介委員・丸井理恵委員
	志賀亮子委員・古谷啓子委員・佐藤友亮委員
出席者(学校)	藤林教頭、明山首席、黒木首席、中尾総務部長
傍聴者	0名
協議資料	文理探究科改編に向けて、Team-R10の取り組みについて
備考	

議題等(次第順)

1. 授業見学（探究活動）の感想・助言
全体評価・提案： 高大連携（大学の研究室訪問等）や中学校との連携の強化、3年間を通じた探究プログラムの体系化（集大成としての論文執筆等）について議論された。
2. 報告事項
学校教育診断（アンケート）：前年度の結果と比較可能な集計方法を継続（4段階評価）することが確認された。また、回答率を向上させる方策について報告された。
令和9年度使用教科書について確認された。
3. 各学年、各分掌の取り組みの報告

協議内容・承認事項等（意見の概要）

① 分理探究科改編に向けた教育課程（時間割パターン）の検討
令和11年度以降の改編を見据え、増設する単位の扱いについて協議された。

1.現行（50分授業）に「7時間授業日」を1日追加する案（週3日から週4日へ）
2.現行の単位数から1単位減らし、学校設定科目に充てる案
3.45分授業×7時間授業の導入案

委員からは、集中的な学習効果や進学実績の維持、高校生としての持久力・集中力を育てる観点から、「50分授業の維持（1案または2案）」を推す声が多く、45分授業には慎重な意見が出された。

②学校ホームページの充実
現状と工夫について、教員が手軽に更新可能なCMSテンプレートを採用し、情報の「新鮮さ」と生徒の表情が伝わるビジュアルを重視している点を確認した。

委員からは、以下の改善・提案意見が出された。
1.部活動情報の整理・掲載（中学生が探しやすくする）。
2.卒業生の活躍や将来像がイメージできるコンテンツの設置。
3.個人情報・プライバシー配慮の確認。
4.学校パンフレット（2026年版）の多面的な活用と予算面での工夫。

次回の会議日程

日時	令和9年2月4日（木）15：20～
会場	